

Case Study

支部ケース・スタディ

南関東支部

地域子育て団体との協業による 番組制作と事業化展開

東京ベイネットワーク(株)

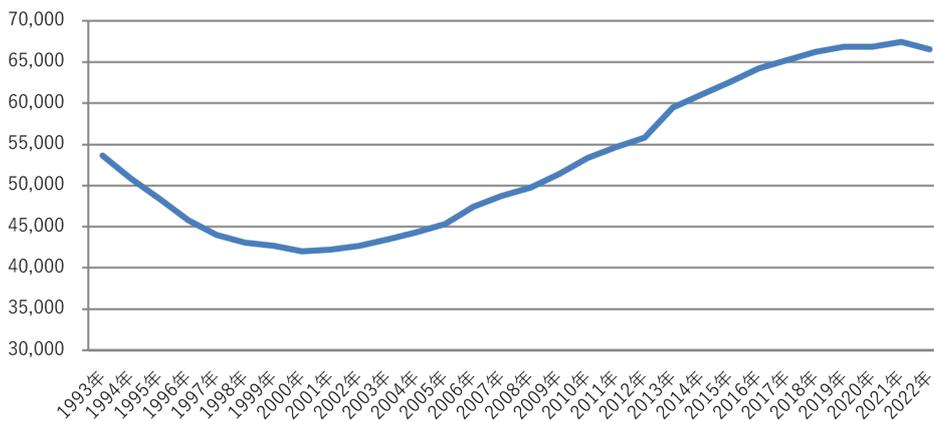
放送制作部 部長

中島 紀志



東京ベイネットワークは、東京都江東区、中央区をエリアとして事業を行っている都市型ケーブルテレビ局です。当社エリアでは、再開発による大型マンションの建築や湾岸エリアの成長により、各地から転居世帯が大幅に流入、少子高齢化が進む日本の現状と逆行して子育て世代の人口が増加するという状況が続いていました。当社が開局した平成5年(1993年)には、江東区で約53,000人だった年少人口(0~14歳)は一時42,000人台まで下落しましたが、平成14年(2002年)に増加に反転すると、令和3年(2021年)まで伸び続け、令和4年(2022年)でも約66,000人と、大幅に増加しています。中央区も同様の傾向で、平成10年(1998年)に約9,000人だった年少人口が、令和4年(2022年)には約22,000人と倍以上に増加しました。

江東区年少人口(0~14歳)の推移



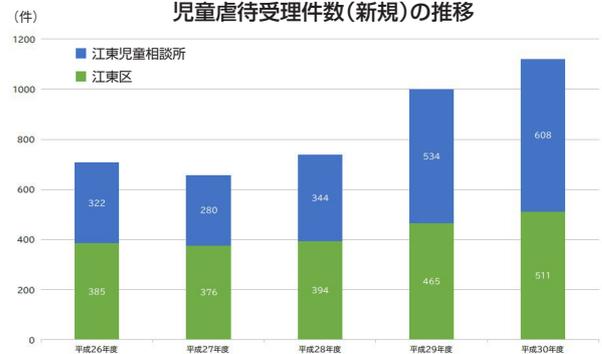
出所：江東区ホームページより

子育て世代の増加と児童虐待受理件数の増加

一方で、同様に増加しているのが児童虐待受理件数です。全国的にも平成22年度に約5万件だった相談件数は令和3年度には20万件を超える相談件数となっていて、江東区でも少し古い資料になりますが、平成26年度に707件だった相談件数が平成30年度には1,109件と5年間で400件増加しており、社会問題となっています。

そうした状況の中、東京ベイネットワークでは江東区で活動している一般社団法人ママリングスと協働で「脱孤育て®」に関する活動に取り組んでいます。「脱孤育て®」とは、地域の親同士がつながりをもち、「孤」独な「子育て」をする家庭を地域で見守る活動を行うことで、子ども虐待予防防止啓発を実践する活動のこと。一般社団法人ママリングスでは「脱孤育て®」に関する様々な事業を行っています。

児童虐待受理件数(新規)の推移



出所：江東区こども・子育て支援事業計画(令和2年度~令和6年度)

ママリングスは平成23年(2011年)3月23日に、任意団体として東日本大震災の震災支援活動から地域活動をスタートした団体です。東京ベイネットワークではママリングスが開催した被災地支援のチャリティーイベントの取材などを通じて関係を築いてきました。

ママリングス立案の「こうとう子育てメッセ」に参加

その関係性が一段と深まったのが、平成28年(2016年)からママリングスが企画立案した「こうとう子育てメッセ」への当社の参加です。「こうとう子育てメッセ」は江東区初の子育て交流見本市として開催されたイベント。江東区協働事業提案制度に採用されたママリングスの企画提案をもとに、区民から公募された「こうとう子育てメッセ実行委員会」と江東区が協働で「脱孤育て®」をスローガンとして、100を超えるブース出展などの企画を会場で展開。当初の想定を超える3,795名参加者が来場したイベントに、当社は親子でキャスター体験という内容でブースを出展するとともに、各企画などを取材して番組放送を行いました。



「こうとう子育てメッセ」へはその後も令和元年(2019年)まで毎年参加、放送を行いました。ママリングスとの関係がさらに深まったのがコロナ禍の令和2年(2020年)です。リアルイベントが制限される中、一般社団法人ママリングスが主催、当社が協力という形で「こうとう子育てメッセ2020 オンライン」を開催いたしました。

番組企画をママリングス、番組制作を当社という役割分担で番組制作を推進。「おうち de リモート脱孤育て あなたの毎日にエールを！」というテーマで区内保育園や幼稚園の情報、産前産後のケア、子育て支援団体の紹介、子育てに協力する企業の紹介などなど、江東区のような子育て情報を、コロナ禍で外とのつながりが持てないため、孤立しがちな子育て環境を少しでも改善しようと放送した番組です。



番組制作のポイントとなったのが出演団体の動画撮影です。出演団体数が約30団体と、全団体を紹介するにはロケ回数がかかり増えることになってしまうため、当社スタッフによる収録がかかり難しい状況となっていた部分を、ほぼすべての動画について、ママリングスのスタッフの方が撮影、もしくは出演団体の方に投稿いただいた動画で放送することが出来たことが挙げられます。ママリングスの方が集めてきた動画を当社スタッフが編集、整音を行い一本化、バラエティ感もあり手作り感もありの、当社スタッフだけでは作れない映像表現をすることができました。

| 主なコーナー企画内容 | |
|--------------------|---------------|
| 保育園紹介 | 子育てのお悩み相談 |
| プレママ・パパ支援情報 | オンライン子育て相談 |
| 地域のお店子育てサポーター紹介 | 江東区の子育て支援情報 |
| 子どもの面白投稿動画紹介 | 過去の子育てメッセージ |
| 地域の子育てサポート団体紹介 | 子育て協力企業の紹介 |
| 子育て写真紹介 | 江東区子育て支援施設の紹介 |
| 小児科医による新型コロナウィルス対策 | 江東区児童館紹介 |

番組については、YouTubeに公開されておりますのでそちらをご覧ください。

<https://youtu.be/eAd7cERgBxl>



(一社)ママリングスとのビジネスモデルを模索

こうした形で協働を進めていた当社とママリングスでしたが、ママリングスが一般社団法人として事業活動を拡大するにあたって、当社もその活動に協力し収益を獲得することができないか、様々打合せをする中、ママリングスが令和3年度(2021年度)に行った「虐待予防研修プログラム」について、協力をさせていただくことになりました。この事業はママリングスが、江東区区民協働提案事業、そして国立成育医療研究センター研究所との共同研究として行われたもので、当社は配信費、動画制作費をいただいた上で、弊社コミュニティチャンネル「Channel Bay」での放送を行うとともに併せて放送に関する協賛企業も募って収益を按分するなど、協業をすすめ、お互いの団体、会社がさらに成長できるようなビジネスモデルの構築が図れないか、協業を行いました。

一般社団法人ママリングス 落合香代子代表理事

東京ベイネットワークでの放送で区民の皆さんから大きな反響をいただきました。子育て支援、子育てイベントの意義について、その究極の目的は、子供が安心して暮らせるまちづくりであるインフラ整備だと考えています。ケーブルテレビのコミュニティチャンネルでの放送はまさに広報であり、ネットワーク、市民の意識の醸成に寄与する役割があると思います。単に、多子化で子どもが増える、子ども向けのコンテンツを配信することに目的があるのではなく、日々の暮らしを支えるインフラとして、御社のような企業が・子どもと親を地域でいかに守っていくのかを考えていただく、一つのアイデアにさせていただきたい、と思います。

折しも全世界的に「SDGs」持続可能な開発目標の推進に力を入れようとしている中、一般社団法人ママリングスの「脱胎育て®」に関する取り組みは、SDGsの目標の「すべての人に健康と福祉を」や「質の高い教育をみんなに」「住み続けられるまちづくり」など複数の目標に当てはまる活動となっています。当社としてもこうした活動に放送やコンテンツ制作の面で協力をさせていただくとともに、事業への協力を通じて収益の獲得を図っていくことができると考えています。